

8/21 ガザミ アイド ヤシガニ 獲りの巻



スポン by 中川洋子

春に来た時から、この日も楽しみにしていました。案内人は おとなりの佐藤さん。
 同行者は 親川スーパー若旦那、アルバイトの大岡くん、あけぼの館宿泊人 ツルちゃんです。
 夜8:30頃、「長袖、長スポンで集合!」との指令に早くもオタオタ。「そんなもん持たない!!」
 とこゝへ優しいお助けマン 鈴ちゃん登場。鈴村さんのスポンと服を借りて行くことになりました。
 ところが、鈴ちゃんのスポンをばいた私を見、みんなの笑うこと 笑うこと... もうひとり私が入る
 くらいウエストが余っていたのでした。それと 荒木ちゃんが うしろから ひしこくくっつけて...
 みどりさんや ひろみさんや あけぼんが、あの台所から食堂へのせまい渡し口の窓からのぞきこんで
 笑っているのが印象的でした。まじに見せ物状態。自分でも 笑いきま? 腹が痛かった。
 こゝに長グツをはいたところは... 途中、飲み物を買ったスーパーでも 異質な存在とい
 まわりの人が「メートルくらいうしろへ引いていました。」

とく 秘密の場所に到着。佐藤さんの頭には ヤシガニ よりも ガザミ!
 ま、暗な林の中をぬけて、浜辺へ。そこから水の中へ ジバジバと 入っていくのです。その
 うちに水がひたから モモのあたりへ... と 深くなると、長グツに水が入り、スポンは水と
 あり おしりと重い。まるで 大リーグボール養成ギブスをつけているよう。ロボットのよう
 がコンガコンと 歩すら こわばった足をふみ出したのでした。水はすこく 温かく、汗がグワグワ。
 とく行けども 行けども ガザミはおらず... イカを見つけ、佐藤ちゃんが 追い回したけど、
 結局 逃げられしまいました。

「ここはダメだ...」 一行は肩を落として 次の場所へ。また 海岸から 手に別れて行くか
 何もおらず。 「ここもアカンのんちやうか、あらんんのんちやうか」という声も 出さな。突然
 「おった!!」の大声が 響きわたりました。続いて、「ゲットオ!!」の声に、思わぬ 私はず
 っ!! とふいてしまいました。さすが 東京の若もん。大岡さんが、この大まなガザミを
 つかまえたのです。それにしても、あのセリフはおかしかった。まだ 耳に残っています。
 そのあと、私が見つけたものは 手のひらくらいのちっちゃいやつだった。けど、見れたので満足して
 この一匹を袋に入れ、あけぼの館に見せびらかしに 帰ってきたけど、11じというのに 食堂の
 火灯りは消え、シーンとしていました... (このパターンが多い) 仕方なく、玄関と
 ガザミを 大いばりを持った大岡さんの 写真をパチリと 写して、ゴソゴソと 部屋へ戻ったのでした。

荒木さんのデザート、コーナー



荒木さんが、かわいい女子高生にせがまれ、作ったデザートと 私をムリやり食べさせられました。
 るこくとバナナの入ったポーポーに ヨーグルトと ミカニ入りのフルーツが かかっている。ほんと。
 チョコのコロンとイチゴのポッキーが 飾りつけにのっける チョココーカスデザートでした。
 ヨーグルトのすっぱさとバナナの甘さ、チョコのにかみかマツチして、すこくおいしかった。
 荒木さんは、自分で考えたメニュー (たとえば ヤシガニのちらしずしとか) をいろいろ
 持ってきて、料理の達人です。かわいい女子高生のみゆさん、荒木さんにせがまれて
 おいしい料理を作ってもらおう!